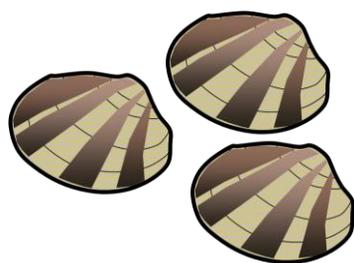


アサリ資源を 増やすためには

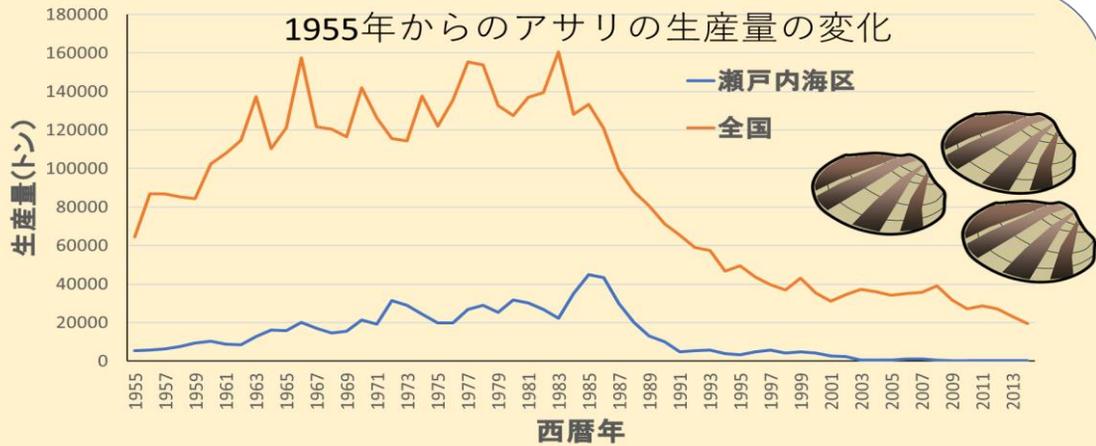
地域本来の力を活用した資源再生策の提案

アサリの生産量は全国的に1980年代半ば頃から減少を続け、最近では最盛期の20分の1になっています。生産量の減少を食い止めてアサリ資源を増やすため、アサリの現状と対策を紹介します。



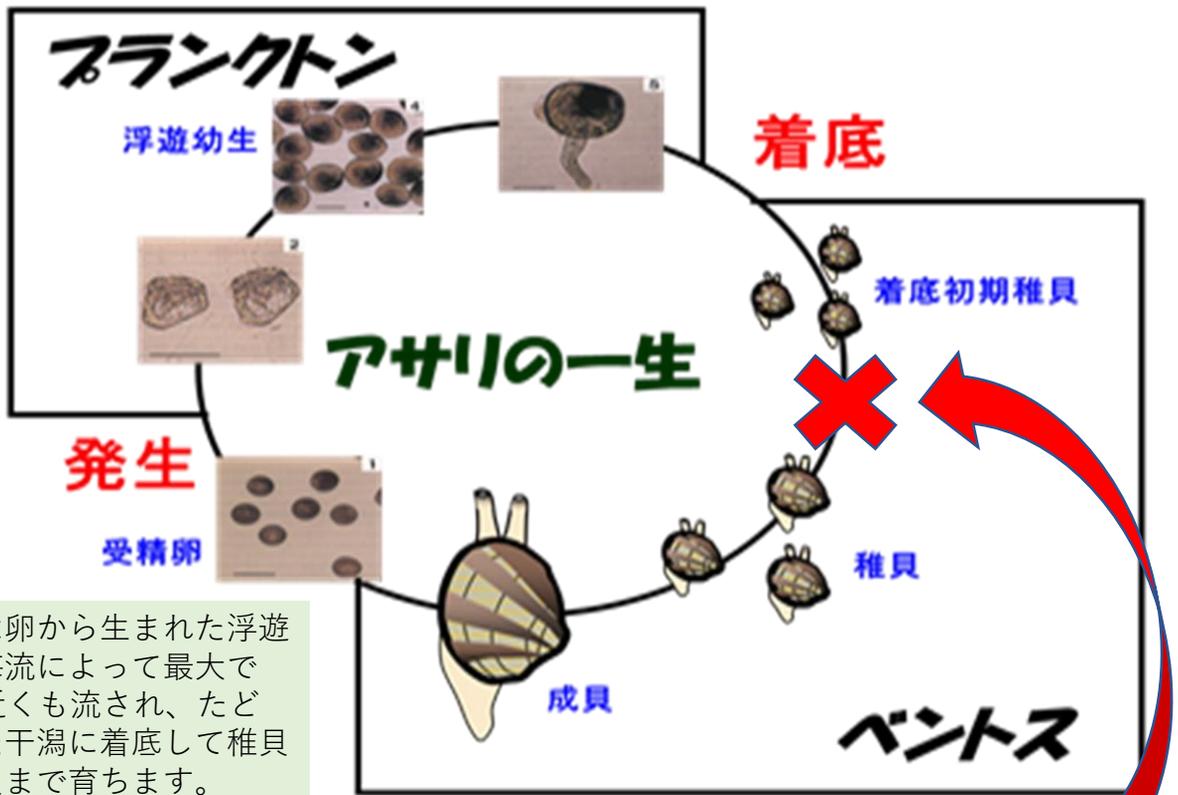
- ・アサリの現状
- ・アサリはどの段階で減耗するのか？
- ・アサリを増やすにはどうすればよいのか？

国産アサリは全国的に減少しています！



アサリの生産量は全国的に1980年半ばから減少を続け、最新の統計では1万トンを割り込み、最盛期の20分の1となっています。

アサリを減少させる要因は様々ありますが、アサリ在生活史の中で稚貝期の減耗が大きく、着底した稚貝は居るが成貝まで育たないという事例が増えています！



アサリは卵から生まれた浮遊幼生が海流によって最大で100km近くも流され、たどり着いた干潟に着底して稚貝から成貝まで育ちます。

着底期以降に餌不足や食害等で大量に減耗

産卵する成貝が減少して資源が減少

減耗する時期に人が守ってあげれば資源再生は可能！

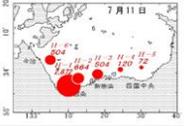
アサリを増やすには！

地場で発生する稚貝を採取・保護して、成貝まで成長できる環境を作り、管理することが必要！

稚貝が多く着底する場所を探す



浮遊幼生調査や海流の調査などにより浮遊幼生の集まりやすい場所を探す！

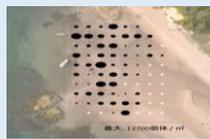


浮遊幼生がどこに集まりやすいのか、どんな調査をしたらいいのかなど分からないときは、次ページに記載している機関へお問い合わせください

着底場所で稚貝の分布を調べる



稚貝の多い場所を探す！



稚貝を保護・育成する



袋網やカゴに入れ、食害から保護して育成する！



稚貝を回収



袋やカゴを開け、ふるいでアサリ稚貝を回収



アサリ漁場に放流・育成



被覆網で食害から保護して育成する！



漁業の再開



潮干狩りの復活



複数の漁場において地場で発生するアサリ稚貝を活用して資源の再生に成功！

本パンフレットの内容は、農林水産省委託プロジェクト研究「生態系ネットワークの修復による持続的な沿岸漁業生産技術の開発（平成25年度－平成29年度）」報告書に基づいて作成されています。より詳しい内容をお知りになりたい方は、農林水産技術会議事務局ホームページに掲載しています「生態系ネットワークの修復によるアサリ資源回復のためのガイドライン」をご覧ください。

問い合わせ先

【詳細は下記機関へお問い合わせください】

国立研究開発法人水産研究・教育機構
瀬戸内海区水産研究所
〒739-0452 広島県廿日市市丸石2-17-5
電話：0829-55-0666

広島県水産課水産技術指導担当
〒730-8501 広島県広島市中区基町10-52
電話：082-513-3610

廿日市市農林水産課
〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
電話：0829-30-9144

前潟干潟研究会
（事務局 大野町漁業協同組合内）
〒739-0443 広島県廿日市市沖塩屋三丁目4-21
電話：0829-55-0048

岡山県農林水産総合センター 水産研究所
〒701-4303 岡山県瀬戸内市牛窓鹿忍6641-6
電話：0869-34-3074

愛媛県水産研究センター栽培資源研究所
〒799-3125 愛媛県伊予市森甲121番地3
電話：089-983-5378

大分県農林水産研究指導センター
〒879-0608 大分県豊後高田市呉崎3386番地
電話：0978-22-2405

事業については
農林水産省 農林水産技術会議事務局研究開発官(基礎・基盤、環境)室
〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1
電話：03-3502-0536

